



いろは呑龍新聞

2018年(平成30年)5月号
第29号

リニューアルしました!

呑龍ポンプ場(土木)工事着手

呑龍ポンプ場(土木)工事に着手しました!
平成8年度から工事を開始した桂川右岸流域
下水道(雨水)事業(いろは呑龍トンネル)です
が、平成32年度を予定している流下排水機能
の暫定供用開始に向けて、大規模工事が始め
ます。

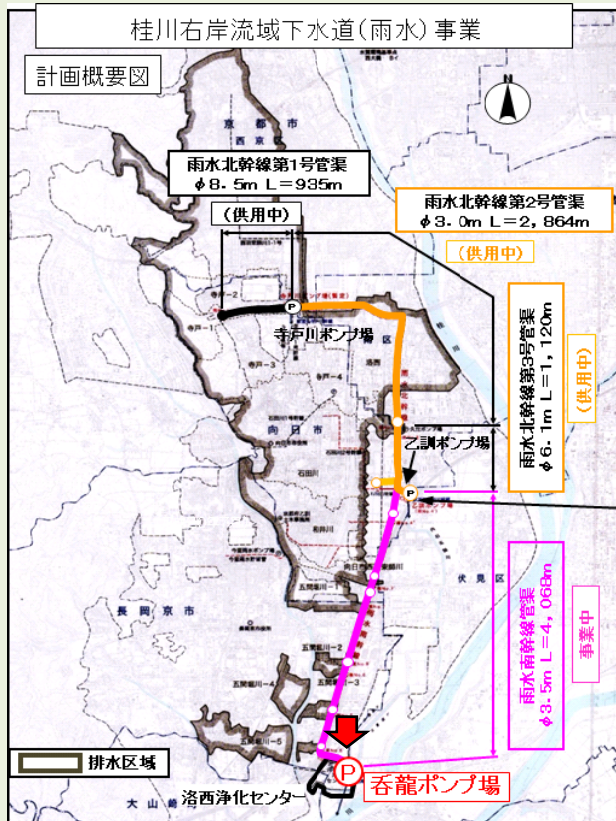


ポンプ場予定地航空写真



仮設囲い鋼矢板打設中

呑龍ポンプ場とは?



呑龍ポンプ場は、いろは呑龍トンネル北幹線と南幹線の管内を流した雨水を直接桂川へ放流するためのポンプ施設です。

場所は洛西浄化センターの敷地内に整備し、土木、建築、機械、電気工事が混在する複合的な施設となります。

現在工事中である南幹線と呑龍ポンプ場が完成することによって、供用中の北幹線が持つ貯留機能(管内に雨水を貯め込む機能)に、桂川への流下排水機能(管内に雨水を流し、ポンプで排水する機能)が加わり、より大きな雨が降っても床上浸水の発生を抑えることができるようになります。

着手した呑龍ポンプ場(土木)は、ポンプ場の地下部分であり、縦39.5m×横42.5m、深さ42.7mの巨大な構造物を地中に造る工事です。

大きさのイメージ

呑龍ポンプ場(土木)工事で造る地下部分は
○大きさは京都タワービルと同程度の大きさ
○高さは京都タワー展望室3階と同程度の高さの巨大な建物なんだ。



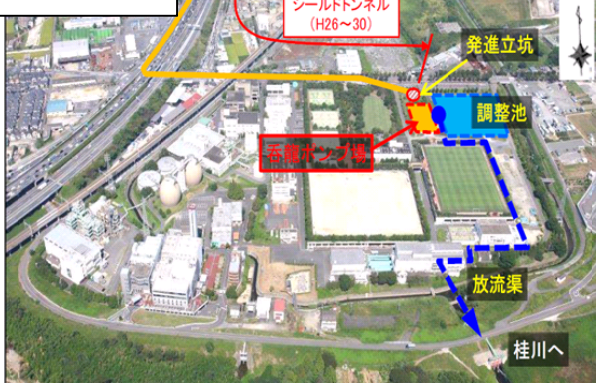
京都タワー

展望室3階

京都タワービル

写真提供:京阪ホテルズ&リゾート株式会社

洛西浄化センター全景



シールドトンネル (H26~30)

発進立坑

調整池

呑龍ポンプ場

放流渠

桂川へ

